

審議会等の会議結果報告

1 会議名	第2回久居地区地域審議会
2 開催日時	平成25年8月20日(火) 午後1時30分から午後3時37分まで
3 開催場所	久居庁舎3階 301・302会議室
4 出席した者の氏名	(久居地区地域審議会委員) 大幡貞夫、井面三砂、大井佳壽美、岡みち子、川合和成、川原田義之、 倉田年治、佐藤ゆかり、中森堯子、服部孝、浜地明子、森下隆史 (事務局) 久居総合支所長 南浦康人、副総合支所長 青木好巳 地域支援員 横田明人、地域振興課長 澤井尚 同課地域支援担当主幹 中村哲也 同課地域振興担当副主幹 高士健一、同課主査 堤佳代
5 内容	1 平成24年度地域かがやきプログラム事業評価の取りまとめ結果について 2 (仮称)津市久居ホール整備基本計画検討委員会の進捗状況及び検討に係る意見・提言について 3 その他 ・榊原未来会議の進捗状況について
6 公開又は非公開	公開
7 傍聴者の数	1人
8 担当	久居総合支所 地域振興課 地域振興担当 電話 059-255-8819 E-mail 255-8812@city.tsu.lg.jp

・議事の内容 下記のとおり

地域振興課長 みなさんこんにちは。お暑い中をお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただ今から、第2回久居地区地域審議会を始めさせていただきたいと存じます。

事前に日程を調整させていただきましたが、本日は、柴田委員様、清水委員様が所用により御欠席との連絡をいただいております。

本審議会の情報公開につきましては、委員個人名での掲載とさせていただきますので、御了承いただきますようお願いいたします。

それでは、開催に当たりまして久居総合支所長の南浦から御挨拶申し上げます。

総合支所長 改めましてこんにちは。

お忙しい中また暑い中を第2回の地域審議会に御出席をいただきましてありがとうございます。

また、平素は、久居総合支所に対しまして御協力・御支援をいただきましてありがとうございます。

前回の審議会の開催以降、久居総合支所管内に色々な動きがありましたので、御報告させていただきます。

まず、御心配をいただいておりますポルタひさいの件でございます。久居都市開発株式会社が持っておりました保留床について、7月1日付けで津市が取得し、登記も完了したことを御報告させていただきます。

次に、(仮称)津市久居ホール整備基本計画検討委員会が発足いたしまして、当審議会の大幡会長と、久居文化協会の会長として中森委員、公募委員として佐藤委員が検討委員会の委員として御出席いただきまして、明日3回目の検討委員会がありますが、すでに2回検討委員会が開催されました。

1回目は市長の委嘱式が行われ、2回目は8月1日に、愛知県の長久手市と武豊町に先進地視察ということで、ホールを見に行ってくださいました。大変御苦労さまでございました。

8月3日になりますが、サマーフェスティンひさいということで、自衛隊のグラウンドで花火大会をさせていただきました。怪我なく無事に終わることが出来ました。ありがとうございました。また、4日の早朝には清掃作業にも加わっていただきありがとうございました。

それから、ニューファクトリーひさい工業団地ですが、最後の一区画が売れました。株式会社エースパックという大阪に本社がある会社で、スーパーマーケットやコンビニで販売する食品の軽量パックを製造する会社です。

もうひとつ、庄田工業団地ですが、ベルギーに本社がある日本マイクロサーム株式会社という断熱材の製造販売をする会社が進出することになりました。

本日の議題は、前回、地域かがやきプログラムの評価の取りまとめをお願いしておりまして、委員の皆様から色々な御意見をいただきましたので、御報告させていただきます。

それから、久居ホールの検討委員会の進捗状況などを御報告させていただきます。

また、榊原未来会議の進捗状況について御報告させていただきます。

皆さんの忌憚のない意見を頂戴いたしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

地域振興課長

それでは、議題に入る前に、本日の資料の確認をさせていただきたいと思っております。

事前に送付させていただくことができませんでしたが、本日お配りさせていただきました資料として、

- ・ 事項書
- ・ 資料1 「平成24年度地域かがやきプログラム事業の評価について」
これは、事項1で御審議いただく資料でございます
- ・ 資料2 「第1回(仮称)津市久居ホール整備基本計画検討委員会資料」

ホールの第1回検討委員会の主な資料の写しです。

- ・資料3「第2回（仮称）津市久居ホール整備基本計画検討委員会（視察）資料」

ホールの第2回検討委員会の主な資料の写しです。

- ・パンフレット

サマーフェスタインひさいのチラシ

榊原自然学校のチラシ

以上でございますが、不足する資料はございませんでしょうか。もし無いようでしたら、事務局に申し付けていただきたいと思います。

それでは、事項書に基づきまして、会議を進めていただきたいと思います。大幡会長様よろしくお願いいたします。

議長 ありがとうございます。

それでは、「地域審議会の設置に関する協議」第9条第5項に基づき、議長を務めさせていただきます。

本日は、12人の出席を頂いておりますので、「地域審議会の設置に関する協議」第9条第4項の規定により、当審議会は成立しておりますことを御報告いたします。

続きまして、本日の会議録の署名委員ですが、佐藤委員と中森委員のお二人にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

1 平成24年度地域かがやきプログラム事業評価の取りまとめ結果について

議長 それでは、事項1「平成24年度地域かがやきプログラム事業評価の取りまとめ結果について」に入らせていただきます。

事務局から説明をお願いします。

地域振興課長 それでは、事項1「平成24年度地域かがやきプログラム事業評価の取りまとめ結果について」御説明させていただきます。

資料1を御覧いただきたいと思います。

平成24年度の地域かがやきプログラム事業の評価のあり方につきましては、前回の地域審議会で御説明させていただき、御意見も頂戴いたしました。

限られた回数の審議会の場を有意義なものにしていく点から、前回の審議会で頂戴しました御意見や御提言、また、前回の審議会の終了後に委員の皆様から御提出いただきました意見や評価コメントを事務局の方で資料1のとおりまとめさせていただきました。

これにつきまして、ただ今から御説明させていただきますが、本日の審議会で委員の皆様にご内容を点検していただいた後、当審議会の会長から久居総合支所長に送付させていただくことで、平成24年度の地域かがやきプログラム事業の評価としたいと考えております。

それでは、資料1でございますが、鏡の文書を御覧いただきたいと思います。宛先は久居総合支所長で、発信者が審議会の大幡会長でございます。

標題は、「平成24年度地域かがやきプログラム事業の評価について」で、「記」以下に記載してございます平成24年度の地域かがやきプログラム事業の1事業について1シートに、提出いただきました意見をまとめさせていただきました。

鏡の文書の2段落目を御覧いただきたいと思います。「審議の過程等において各委員から出された評価や意見・提言等を下記の事業毎に、別紙のとおり取りまとめましたので、今後、各事業を実施されるに当たり十分参考とされ、よりよい事業推進を図られるようお願いいたします。」という文面を添えまして、2ページ目以降、1枚ページをめくっていただきますと、「津市民大学事業 雑学人づくり塾事業」でございますが、その事業名以下、まとめ方として、肯定的な評価、否定的な評価、意見・提言等に大きく分類させていただいて、各委員の評価、意見・提言等をほぼ原文のまま、委員の名前は伏せてまとめさせていただきました。

時間の関係もございますので、シート毎に概略を御説明させていただき、訂正等についての御意見は、後ほどまとめて頂戴したいと思います。

それでは、「津市民大学事業 雑学人づくり塾事業」でございます。

当事業につきましては、平成25年度は、公民館講座として実施されることになりまして、地域かがやきプログラム事業としては、平成24年度で終了した事業でございます。

御意見をいくつか紹介させていただきますと、肯定的な評価の上から4つ目ですが、「中央公民館に行きますが、人材を育成して、発表する人も出てきています。リーダーになる人がしっかりしていれば、成長していくと思います。」という評価。また、意見・提言等の2つ目ですが、「特定の事業だけではなく、全ての公民館事業が地域のリーダーを育成している。」という御意見でございます。本年度は、結果として公民館事業として全体を包括して事業を進めさせていただいているところでございます。

シートでございますが、左上を見ていただきますと、宛先をそれぞれの事業の所管とさせていただきます。雑学人づくり塾事業につきましては、この地域審議会から教育委員会事務局の久居教育事務所宛てということで、それぞれのシートを見て参考にさせていただくようにしております。

次に、「久居まつり事業」でございます。

意見・提言等の上から4つ目でございますが、「久居の歴史・文化を踏まえた内容を取りこみ、「久居」の祭りを創造していくことを望みたい。」という御意見、また、そこから2つ下でございますが、「ハチ公の像と緑の風公園も会場との事ですが、こちらでも何かイベントを考えたらと思います。」という御意見がございまして、実は、これについては、今年の10月の久居まつりのときに、緑の風公園でのイベントを実行委員会の方で考えていただいております。また、ポルタひさい1階の以前マルヤスがあった所で、まちかど博物館の

博覧会ということで、県内で趣味の展示を行っている団体が、10月26日(土)、27日(日)に展示・発表をすることを企画していると聞いております。

次に、サマーフェスティンひさい事業でございます。

肯定的な評価の1つ目として、「地域の方々を中心に、親しまれており、今後も継続すべきである事業。」という評価。その3つ下であります、「50余年前からの久居花火。4,000発6万人続けて欲しい。」という評価があります。ちなみに、本年度も観覧者は6万人ということでございました。

次に、鉄道で巡るおもてなしルート設定事業でございます。

否定的な評価はなく、肯定的な評価や意見・提言等をいただいております。

その中で、関連した意見でございますが、意見・提言等の3つ目でございますが、「市史編纂事業にも行政は力を入れてほしい」、「予算を言われるのであれば、亀山市方式など研究してほしい」ということで、亀山市のHPを見ましたところ、インターネットで市史を閲覧できるようになっておりました。予算的にいくらかかっているのかはわかりませんでした。平成13年ぐらいから取り組んでいて、インターネットで、例えば、発掘の状況とかの写真・資料が閲覧できるようになっております。

また、意見・提言等の下から2つ目ですが、「是非、子ども達にも、身近にこんな名所や史跡があることを教えてほしい。」という意見がありました。

次に、活力ある温泉ゾーン形成事業ということで、湯の瀬フラワーガーデン整備事業と花街道景観整備事業でございます。

意見・提言等の中ほどですが、「10数年前にJAの女性部が行っていたと思います。JAの女性部の力を借りてはどうでしょうか。」という御意見。また、「古代米作りは別の田んぼで行い、あの場所を榊原活性化の拠点施設作りの場所に出来ないだろうか。」など、この事業については、沢山の御意見をいただいております。

次に、榊原温泉ふれあい朝市事業でございます。

この事業については、平成25年度からは別の補助金を活用した事業ということで、地域かがやきプログラム事業としては、平成24年度で終了した事業で、これもいくつかの御意見をいただいております。

次に、榊原温泉ふれあいの郷イベント事業でございます。

これについては、肯定的な評価の1つ目でございますが、「かかしコンテスト、古代米、イベントも行われ、来場者が増えていることは良いと思う。努力されていることがよく分かります。」という評価とか、3つ目の「かかしコンテスト好評は良かったし、さらに拡大を望む。収穫祭でのチンドン屋・ジャンボかぼちゃも良かった。」という、おそらく現地に行っていた方の御感想であると思っておりますが、このような評価をいただいております。

これについては、榊原未来会議のメンバーの方に意見を頂戴できないかと、実行委員会から声掛けをさせていただき、何名かが手を挙げていただきました。

次に、榊原温泉マラソン大会事業でございます。

意見・提言等の2つ目で、「市職員の負担が大きいですので、実行委員会に任す

べきは任せたらどうか。運営方法など前例踏襲ではなく、見直すべきは見直し、改善していただければと思う。」という御意見。4つ目で、「市民の健康増進イベントとして実施。」というような御意見をいただいております。

最後に、久居地域づくり活動支援事業でございます。

肯定的な評価の3つ目で、「各地域での活動内容は異なるが、地域力を高め、維持することの目的は同じである。地域で新たな発想が生まれ地域の絆を深める活動として有効である。全地域に活動の輪が広がれば最高。」という評価。また、否定的な評価として、「毎年特定の団体が予算を取っていく。形骸化していないか？実効ある企画・事業・団体であるか見極めて欲しいし、眠っている団体に活動を喚起する広報を望む。」という評価。また、意見・提言等の最後に、「利用されていない地域でのPRもお願いしていただけたら？」という御意見をいただいております。

この事業につきましては、生活課と地域振興課が担当させていただいております。今、同一事業で3年間とさせていただいておりますが、今後、より広い、今まで御利用いただけなかった団体の方にも利用していただけるような仕組みの作り直しというか、要領の見直しに入らせていただいております。この御意見を頂戴して、今後の事業展開に向けて内部で仕組み作りの検討をさせていただいているところでございます。

地域かがやきプログラム事業の評価シートについての説明は以上でございます。修正等の御意見がありましたらよろしくお願いたします。

議長 ありがとうございます。

それでは、以上で説明が終わりましたので、修正等の御意見がありましたら、お受けしたいと思います。

佐藤委員 一枚目の鏡の宛名が久居総合支所長様になっておりますが、これは市長にもこのシートを上げておく必要はないのでしょうか。

地域振興課長 形式的にいいますと、宛名は市長であると思いますが、地域かがやきプログラム事業自体が、それぞれの総合支所単位の取り組みでございまして、地域性という観点から言いますと、支所長の方へ出させていただいて、そこから迅速に各所管に、例えば、総合支所内の管理職会議がございまして、そこで報告させていただくのが良いかなと思ひ、こういう形にさせていただきました。

もちろん、全体の中では、各総合支所の地域振興課の業務は、本庁の地域政策課が総括してございまして、そちらの方へもこの資料が行きますので、評価内容については、書面で全体に行き渡ります。

川合委員 榊原温泉ふれあいの郷イベント事業ですが、「鳳城朋美事務所の方々が温泉協会・地元の方に相談に行ったが、良い返事がなかったと嘆いていた。」と書いておりますが、我々榊原の自治会としては、そういう話はまったく聞いてい

ないので、削除してほしいと思います。

地域振興課長 私自身も、この意見がどの委員の意見かは分からずにこの表を見ておりますので、事実関係を再度確認させていただいて、川合委員の御意見のようにこの表現が好ましくないということであれば、この表から削除させていただきます。

森下委員 鉄道で巡るおもてなしルート設定事業ですが、意見・提言等の所に、「ガイドマップを作成していただいたことにより、お客さんが来ていただいたが、治安上大丈夫なのかと心配になり、地元としては、いろいろな苦勞があります。」と書いてありますが、実際に、治安上問題となったことがあったのか、今後の参考として聞かせていただきたいと思います。

また、ガイドマップを作成したことにより、お客さんが来たとまでは断定できないと思います。第一の要素までにはなっていないと思います。「ガイドマップを作成したこともあり」というように表現をやわらかくしてほしい。

というのは、お客さんが大勢来るのは、近鉄主催のイベントであり、私たちは、ガイドとしてお手伝いはしておりますが、大勢の人に配るとガイドマップはすぐ無くなってしまいますので、渡しておりません。地元としていろいろな苦勞があるというのは理解しております。

地域振興課長 文言的に何かうまくまとめる、客観的な文言がありましたら御意見をいただきたいと思います。

倉田委員 これは、私が言った意見ですが、具体的に問題になった事象はありません。ただ、地元として心配しているのは事実です。

地域振興課長 「ガイドマップを作成していただいたことにより、お客が来た」という部分は、事実なのでしょうか。たくさんの方が、歩いているのでしょうか。

倉田委員 まだ効果はつかんでいませんが、一般的に、ガイドマップを作成するというのは、お客さんに来ていただくという主旨があると思います。その反面、地元としては心配があるのも事実です。

森下委員 前回の審議会の時にこの話があり、おっしゃっていただいたのは、津市が中心となって行った健康ウォークのことで、750人ほど桃園地区を歩きましたが、そのことを踏まえた話であると理解しておりました。また、もうひとつ、近鉄の主催で、油正を絡めた事業がございまして、それは桃園地区を歩きますが、1,000人を超えております。

私たちガイド会は、その時にガイドをさせてもらっております。そのような大きな催しのときには、主催者は、事前に、寄られるお寺さんとかに協力要請をしておりますが、一般の方は分からないのが現状です。

私たちガイド会が主催の行事は、1年に数回あるかないかです。

倉田委員　　どこの団体の主催であろうと、来ていただいたことに対して不安があることは事実です。それから、もうひとつ言いますと、大勢来ていただきますと、トイレに関して困っていることがあります。

お寺の方が好意でトイレを貸しておりますが、檀家の方は苦情を言っています。必ずしも、大勢の方が来ることにより、全てがハッピーエンドではないということを、主催者も、ガイドマップを作成する方もそういう事を御理解の上で活動していただきたいと思っております。

佐藤委員　　今、トイレの話がありましたが、前回の審議会の中で、草刈りとかの環境整備の話がありましたので、治安上の不安だけでなく、環境整備という文言を入れていただいたらどうでしょうか。

中森委員　　「ガイドマップを作成したことにより」という文言に対して森下委員は修正をしてほしいと言っていると思います。

地域振興課長　　皆さんの御意見を聞きながら修正文を考えてみましたので、案を申し上げます。「ガイドの実施や、ウォーキングイベントなどで、他所からお客さんが来ていただけるようになると思うが、地元としては治安面やトイレ等の環境整備面で心配な面もあるので、イベント実施にあたっては、その点にも十分に配慮してほしい。」というのでどうでしょうか。

倉田委員　　結構です。

地域振興課長　　それでは、今、申し上げた文書に替えさせていただきます。

議長　　そういうことで、よろしく申し上げます。他に御意見のある方はありませんか。

中森委員　　久居地域づくり活動支援事業で、「各地域でいろいろな事業をされています。利用されていない地域でのPRもお願いしていただけたら？」と書いてありますが、各自治会にPRは行っているのでしょうか。また、規定みたいなものもあるのでしょうか。

地域振興課長　　市民活動団体の主たるものは、この地域では自治会ですので、各自治会に対して、事前に文書を個別通知させていただいております。また、規定もございます。

川原田委員　　久居地域づくり活動支援事業の意見・提言等の欄で、「評価どおり2で良い

と思います。今後に期待します。」と書いてありますが、18団体の全ての事業が「2」の評価ではないと思います。もう少し表現を変えてみてはどうでしょうか。

地域振興課長 従前は、事業に対して点数をつけていただいたので、「2」と評価されたのだと思います。「今後に期待します。」だけにさせていただきたいと思います。

議 長 「今後に期待します。」ということによろしいか。それでは、その表現に修正させていただきます。他にありませんか。

議 長 それでは、他にないようですので、この修正していただいた内容で、当審議会から久居総合支所長に提出いたします。
各事業を実施されるに当たり十分参考とされ、よりよい事業推進を図られるようお願いいたします。

2 (仮称)津市久居ホール整備基本計画検討委員会の進捗状況及び検討に係る意見・提言について

議 長 それでは、続きまして、事項2「(仮称)津市久居ホール整備基本計画検討委員会の進捗状況及び検討に係る意見・提言について」に移らせていただきます。
この検討委員会については、前回5月に開催しました第1回目の当審議会の席上で御報告させていただきましたように、私が代表として出席させていただいておりますことから、これまでの検討委員会の開催経過を簡単に御説明させていただきます。

(仮称)津市久居ホール整備基本計画検討委員会は、6月24日に委嘱式が行われ、同日に第1回の検討委員会が開催されました。委員は、私を含めて15名で構成しております。名簿は資料についております。また、当審議会の中森委員が久居文化協会の会長として、佐藤委員が公募にて、それぞれ委員になっていただいております。

8月1日には、第2回検討委員会として、先進地視察が行われ、8月21日、明日でございますが、第3回検討委員会が開催される予定です。

第2回の先進地視察で、長久手市民文化の家と武豊町民会館の2か所に行ってまいりました。両施設とも、使用状況に応じた舞台設定とか、客席を移動できるようになっているのが、特に私の印象でございました。

大きいばかりでなく、使い勝手の良い会館の建設に苦慮されているのが分かりました。

以上が、概要であります。久居総合支所からも検討委員会へ事務局として参画していただいておりますので、引き続き、詳細な説明をお願いしたいと思います。

それでは、検討委員会のときに配布されました資料の一部抜粋ですが、お手元に資料2、資料3を配らせていただいておりますので、順を追って説明させていただいた後に、今後、この審議会でも、会長に意見を持っていただくために御審議をお願いする局面もあろうかと思っておりますので、今後の進め方も含めて最後にまとめて御説明させていただきたいと思っております。

申し遅れましたが、この検討委員会には、久居総合支所からは、総合支所長と私（地域振興課長）が事務局の一員として出席させていただいております。所管は、スポーツ文化振興部・文化振興課でございます。

それでは、まず、資料2を御覧いただきたいと思っております。

6月24日に委嘱式と第1回検討委員会が開催されました。

1枚めくっていただきますと、「事項書」でございます。今後の進め方と、各委員からの意見をお聞きさせていただきました。

次は、「委員名簿」でございます。全部で15名の委員でございますが、久居地域の委員を御紹介させていただきます。

津市自治会連合会久居支部の稲垣会長、当審議会の大幡会長、四季の彩り祭り実行委員会の小嶋委員長、久居音楽祭実行委員会の齋藤委員長、公募委員の佐藤様、（現在のポルタの市民交流室の利用団体の代表として）NPOどんどの佐橋代表理事、ひさい版仮装大笑運営委員会の菅内会長、久居洋画協会の高橋副会長、久居文化協会の中森会長、久居商店連盟の別所様の10名です。

1回目の検討委員会で、三重大学教育学部の山田康彦教授が会長に、津市自治会連合会久居支部の稲垣博司会長が副会長に互選でないただきました。

会議の概要でございますが、1回目は委嘱式と委員の意見を簡単に伺い、2回目は視察ということで、今の時点では、検討に当たっての基礎的な資料の説明とか、検討委員の皆様ぜひ知っていただきたい内容の説明をしたのみであり、御意見をいただくまでに至っておりません。

次は、「久居駅周辺地区のまちづくり」ということで、これは、本年2月に市議会の方で示されました、久居駅周辺地区のまちづくりビジョンを図にまとめたものでございます。

ポルタひさい、久居駅、久居駅東エリアと久居東鷹跡町エリア全体を連帯性をもたせてまちづくりを進めていこうというイメージでございます。

次に、「建設予定地の概要」でございますが、（仮称）津市久居ホールは、今、お見えの場所に建設させていただくというもので、その位置図でございます。

次の図は、「現況図」でございます。赤い所が、市の所有地で、黄色の所が借地でございます。

次の図は、「都市計画図」でございます。用途地域が定められており、この地域につきましては、近隣商業地域であり、西側の所は、第1種住居地域となっております。

何枚かめくっていただきますと、「（仮称）津市久居ホール整備基本計画検討委員会設置要綱」がございます。

この第1条に、「文化芸術活動の拠点施設となる（仮称）津市久居ホールの整備に係る基本計画の策定に関し広く意見等を聴くため、（仮称）津市久居ホール整備基本計画検討委員会を置く。」ということで、これが設置の根拠でございます。

次に、「ニュースレター」でございます。

これは、検討委員会が1回終わるごとに、会議の概要をお知らせする意図で作っております。

市長のあいさつの2つ目の段落に、「久居市民会館を新設するにあたりポイントは3つあります。1つはホールをどのようなものにしていくかです。2つ目は、関連する機能をどう持たせていくかということ。3つ目は、住民サービス機能を一部持たせ、また、自治会の皆さんが集まることのできる場所も必要であると考えています。」ということで、検討のポイントをお示ししてあります。

また、「この（仮称）津市久居ホール整備基本計画検討委員会は、地元の方々の思いを込めた施設にさせていただくような会にしたい」と市長の考えを示してあります。

裏面を見ていただきますと、今、資料説明の中で申し上げたことがまとめてあります。

2つ目の「○（仮称）津市久居ホール整備基本計画検討委員会について」を見ていただきますと、「合併合意20事業のひとつである旧久居市の久居駅周辺地区まちづくり事業を引き継いだ取組である、本市の副都市核としてのまちづくりを進めてきましたが、ポルタひさいの再生を軸とした久居駅周辺地区のまちづくりビジョンを推進するに当たり、久居総合支所等が移転することになりました。また、久居東鷹跡町エリアについては、庁舎跡地へ久居ふるさと文学館と連携した文化・交流活動拠点として、（仮称）津市久居ホールを整備していくことになり、そのための基本計画づくりを進めるため、地元の方々を中心とした検討委員会を設置しました。」とございまして、（仮称）津市久居ホールを整備するための基本計画づくりに意見・提言をするのが、この検討委員会の役割でございます。

敷地面積は、図面上ですが、5,500㎡でございます

「各委員からの主な意見」に、「予定されている6回の検討委員会では検討しきれない」ということがありまして、回数を増やすことを検討しております。

それから、5つ目に「幾施設か視察しないと検討が難しい」という意見がありますが、1回目の検討委員会でこのような御意見が沢山ありましたので、2回目の検討委員会で先進地視察をしてきたところでございます。

次に資料3でございますが、これは、視察研修資料の抜粋でございますので、御覧いただけたら良いと思います。

視察した所は、愛知県長久手市にございます長久手市文化の家と、愛知県知多郡武豊町の町民会館、愛称が「ゆめたろうプラザ」でございますが、この2か所を見学させていただきました。

両施設とも非常に立派な施設でございました、資料3の中の折りたたんだA3の図を見てほしいのですが、両施設とも2つのホールやラウンジ等がございまして、仮に今の総合支所の敷地内に置いた場合は、1つのホールしか入らないような大きなものでございました。

簡単に、両市・町のことを説明させていただきますと、長久手市は、人口が52,000人でございまして、面積が21.5㎢で、ちなみに旧久居市が68㎢でしたので、久居地域の東側の市街地ぐらいをイメージしていただけたらよいと思います。一般会計の予算が156億円でございます。

武豊町は、人口が42,000人で、面積が25.82㎢、一般会計の予算が125億円で、面積を除くと、旧久居市と同程度の自治体でございます。

特色といたしましては、両施設とも、施設の立派さはさることながら、運営面に非常に力をいれています。

委員さんのどなたかが途中でおっしゃっていましたが、ホールは貸し館業務であると思っておりましたという御意見がありました。

津市内の10のホールで、平成24年度の運営費は、人件費込で約7億円かかっております。だいたい一般会計予算の1%を超えると、相当ホールに力をいれているという評価がある旨を長久手市で聞きました。津市は、1,000億円の予算で7億円ですので、少ないというわけではございませんが、10のホールがありますので、予算も10に分散します。長久手市も武豊町も1か所でございます。最近造ったばかりで、それまではホールがない状態で、後発で造られました。

特色的なのは、企画運営に力をいれており、決して貸し館業務ではなく、長久手市は直営で、武豊町はNPO法人に委託して、市民・町民の方が自主的な企画を年間多数、有料な講演が多いのですが、コンサートとか演奏会をされております。

あとは、この検討委員会では、課題として意見をいただいておりますが、ギャラリーについては、両施設ともあまり利用されていませんでしたので、今後、県内で良い所があれば、ギャラリーを見に行っていたらどうかと考えております。

なによりも、ホールの検討委員会の検討フローとして、施設の内容の検討と、施設の建築計画の検討の2つの柱があると思いますが、施設の内容、例えば、どういう基本理念の下で造るかという基本的な考え方、横文字で「コンセプト」ということになると思いますが、そういう大きな柱になる考え方をまず先に御検討いただきまして、そういう柱となる考え方を検討委員の皆様で共有できた後、施設の建築計画、例えば座席数とか、ギャラリーの規模について御検討いただくことになるかと考えております。

そういうことから、まだ、明日の検討委員会の内容はわかりませんが、大幡会長様が、ホールの基本的なコンセプトについて、どういう活動を主にするとか、どういう演奏を主にするとか、教育面に力点を置くなら、どういう学生を主にするとかというような御意見を求められる場合がありますならば、そういう

宿題に対して、審議会の委員様に御意見を言っていただき、その御意見を会長様に検討委員会に持って行っていただくことになると思います。

雑ばくな説明でございましたが、資料の説明は以上でございます。何か質問がございましたら、事務局の一員として聞き及んでいる範囲でお答えさせていただきますのでよろしく願いいたします。

議長 　　ただ今の報告内容につきまして、御質問等がございましたら、お受けしたいと思っておりますので、挙手の上、よろしく願いいたします。

倉田委員 　この検討委員会は、難しい検討委員会ですね。

市内のホールの利用実績の資料を見ますと、今の久居のホールは、約1,000席ありますが、全部を使われたのは、成美の団体と、高校の文化祭だけで、それ以外は、ほとんど4～500席でおさまっています。

そういうことから、この建築スペースと利用実績から、どれぐらいの規模のホールが必要なかを最初に決めた方が、事務局の説明とは逆行しておりますが、早く進んでいくのではないかと思います。

それと、私は、自治会の役員を兼ねておりますので、自治会の方が重点して意見をお願いしたいのは、市役所の機能がポルタに移転しますが、ホールに付随する住民サービスの機能を、どれぐらい残していただくのが、自治会としての中心でございます。

基本的に、これぐらいの大きさで、駐車場をこれぐらい確保出来る、住民サービス機能をどれぐらい残すということを検討していただけないと、せっかく色々なアイデアを出していただいても、これはスペースがないのでだめですというように、絵に描いた餅とは言いませんが、架空のものを検討していく方向に行くような気がしますがいかがでしょうか。

議長 　　これに関しまして、何か御意見がある方はいらっしゃいますか。

中森委員 　今、おっしゃられたことはすごく当たっていると思います。

でも、私たちは、選ばれた人間として、5,000㎡しかなくても、ある程度の物が欲しいという希望は出しています。

駐車場とか色々な問題が出てきますが、地下に駐車場を造るなどの検討もしております。

自分たちの希望をどんどん言って、夢はここだけど、実際にはこれだけになるだろうと私も思っております。でも、そうならないように、一生懸命勉強して、色々な所も見せていただいて検討して、皆が喜んでいただけるような施設を造るよう努力するのが、選ばれた者の責任だと私は思って頑張っております。

倉田委員 　私は検討委員ではありませんので、願いますとしか言えませんが、自治

会としては、ホールとは別に、住民サービスの機能を併設することに重点をおいておりますので、自治会連合会久居支部の会長もメンバーに入っておりますので、自治会のバックアップもよろしくお願いいたします。

議長 ありがとうございます。
自治会、文化協会、洋画協会等、各諸団体から出ております。
また、貸しホール、会議室等のスペースも必要です。
これから色々な意見が出てきますので、それを集約して、レイアウトしていくこととなります。
洋画協会からギャラリー関係の意見もありました。
他に御意見ありませんか。

森下委員 ここが、文化ゾーンということですが、今ある元町の埋蔵文化財センターですが、建物が老朽化しておりまして、今後ずっと今のような形で残っていくのか不安があります。今現在、縄文時代から江戸期までの旧久居市内で出てきた埋蔵文化財を展示しておりますが、あそこが仮に閉館ということになりますとそれに代わる展示室が必要になりますので、この際、展示スペースを造っていただくことをお願いしたいと思います。

議長 事務局どうですか。

地域振興課長 会長様が委員ですので、今の意見について、検討委員会で言っていただけたら良いと思います。

森下委員 言うだけでなく、ぜひ検討をお願いします。

議長 今の埋蔵文化財センターを建て替える計画はあるのですか。

森下委員 そういうことは聞いておりません。

地域振興課長 今後の進め方というか、検討委員会の進め方をここでいうのは何ですが、これまでは、施設内容に関する意見をそれぞれの立場からランダムにいただいている段階です。今後、それぞれの委員様の御意見の要素をまとめあげて、何回も議論を繰り返していけば、ホール・ギャラリー・住民活動支援機能・行政の窓口機能に振り分けをして、機能的には固まっていくと思っております。

もうひとつ、斜線規制、日照の問題、敷地の形の問題等で、建築面での現実的なシビアな話を明日の検討委員会でさせていただきます。極論を言えば、高さが取れないなら地下を掘ればよいという考えもありますが、容積的にこれがマックスであるというようなお話をさせていただいた上で、また再度、機能の議論を交互にさせていただくことを事務局では考えております。

議長 ありがとうございます。
他に御意見のある方、ありませんか。

川合委員 将来的に、日本の人口が1億3,000万人から、8,000万人ぐらいになると言われていますが、現状のことを考えてホールを建てられますよね。
建てても機能が半分ぐらいになっていくことになりますので、そういったことを含めてホールの規模を検討していく必要があると私は考えています。

議長 ありがとうございます。
ほかによろしいですか。
それでは、以上が第1回及び第2回の検討委員会の内容ですが、説明を聞いていただいたとおり、これまでの2回は、各委員さんに御意見・御提言をいただく前提となる基礎資料の説明、いわば、審議に入るに当たり知識として共有しておいていただきたい内容説明に充てられました。
次回の検討委員会が、明日、8月21日に開催される予定で、今回は、いよいよ各委員に問題提起がなされると聞いております。
このようなことから、明日の検討委員会に出席させていただいた後、事務局とも相談しまして、各委員さんに御意見をいただきたい事柄を文書で送付させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
この件について、事務局から補足があればお願いします。

地域振興課長 ホールの検討委員会ですが、明日、第3回が開催されますが、第4回の検討委員会について9月下旬から10月の初旬を想定しております。明日の委員会討議がどのようになるかは分かりませんが、もし、審議会として意見・提案を出す局面になりましたら、その意見・提案の内容を取りまとめて事前に送らせていただきたいと思います。

次回の審議会ですが、うまくタイミングが合えば、第4回の検討委員会の前に開くこともできるとは思いますが、持ち帰っていただく検討内容が小さいものでしたら、文書程度で済まさせていただき、中間まとめ的な大きな物のときに、貴重な回数ですので、審議会を合わさせていただいた方がよいと思います。

とりあえず、会長様が、第3回検討委員会終了後、会長様と事務局で打合せをさせていただいて、会議資料は速報で送らせていただき、紙で御意見が必要な時は、それも送らせていただきます。

プラスαとして、会議を持っていただく必要があれば、その後、日程調整をさせていただいて、9月下旬から10月上旬にお集まりいただくこともあると思いますのでよろしく願いいたします。

結果として、検討委員会が後になりましたので、歯切れの悪い御提案でございますが、御協力をよろしく願いいたします。

議 長 　　ただ今の件に関しまして、御意見、御質問等をお受けしたいと思います。

議 長 　　無いようですので、それでは、事務局の提案のとおり、私が第3回検討委員会に出席した後に、事務局と次回の審議会の開催について検討させていただきまして、文書を各委員様に送付させていただきます。

3 その他

議 長 　　それでは、続きまして、事項3「その他」に移らせていただきます。
事務局から説明をお願いします。

地域振興課長 　　榊原未来会議の進捗状況について、口頭になりますが、御報告させていただきますと思います。

　　榊原未来会議は、榊原地域の行動計画、いわゆる「アクションプラン」を作る目的で、地域住民の方々に設置された会議でございます。

　　平成24年11月に榊原地域全世帯にアンケートを実施させていただきましたが、これを資料としてだけに終わらすのはもったいないということで、地域の若手の方々に公募させていただき、30代～50代の榊原在住の9名の方で、本年6月に「榊原未来会議」というプロジェクトチームを立ち上げさせていただきました。

　　この榊原未来会議の位置付けでございますが、榊原地域内で、自治会とか温泉振興協会とかの関係者で作っている「榊原温泉郷活性化検討会」というのがございますが、その付属組織でございます。

　　この会議では、三重短期大学の生活科学科の岩田俊二教授、専門分野は、都市農村計画の先生でございますが、この先生にコーディネーターをお願いして、1年間かけてアンケート結果の分析とか、榊原地域を活性化させるための、地域住民が自ら考え行動する「榊原温泉郷地域活性化プラン」を作成することにしております。

　　第1回目の会議は、6月6日に開きまして、今までの榊原の、過去、年数にすると、40年代、旧久居町及び久居市の時代から榊原は主に、観光振興の観点から取り組みを進めてまいりましたが、その時の計画、過去の計画とか、人口の推移とか、そういう基礎的な勉強会をもちました。

　　第2回目の会議は、7月30日に開きまして、アンケート結果を基に、地域活性化のための課題検討ということで、模造紙にフロー図を描くような形で、分析作業を始めております。

　　3回目の会議は、9月中旬頃を予定しておりまして、第2回目に引き続いて、検討課題に対する解決策を具体的に考えていただくことを予定しております。

　　4回目以降は、時期は未定ですが、1～2回、会議を開催しまして、活性化のプランを作っていく予定で進めております。

　　以上が現況の報告でございます。

活性化プランがうまくまとまりましたら、審議会の方でも御紹介をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

議 長 ありがとうございます。
ただ今の報告内容に関しまして、御意見、御質問等がございましたら、挙手の上、よろしくお願いたします。

中 森 委 員 9名のプロジェクトチームメンバーには、温泉の経営者とか、自治会の会長とかは入っていないのですか。

地域振興課長 今、御質問にあった方々は、上部組織の活性化検討会に入っておりまして、地域で中心的に活動をされている方よりももう一つ若い世代に御意見を聞いてみようという発想ですので、そういう役席の方は入っていません。主に、30～40代、一部50代の方もおりますが、いわゆる、地域で言う若手の方で検討を進めていただいております。

中 森 委 員 色々と検討されて、こういうようにしたらいいなという意見が出るとは思いますが、その後はどういう流れにしていく目的なのですか。

地域振興課長 その後は、その上の活性化検討会の中での検討になりますが、仮に何らかの計画を作っていたら、一般論として、行政がお手伝いできること、地域が主体でやっていただけること、その他、その案を実現するための役割分担をした上で、どういうことができるかという検討になっていくと思います。

例えば、最終的には、地域かがやきプログラムで今は、榊原地域の活性化事業を行っていますが、プランで良い案が出たら、その取り組みに振り替えていくとか、新たな物を新規で提案していくとか、具体の事業に繋げていけたらとの希望を持っております。

議 長 ありがとうございます。
ほかによろしいでしょうか。
それでは、事務局、ほかに何か報告事項はありますか。

地域振興課長 ホールの検討委員会の動向にもよりますが、もし審議会を開催するということになるなら、次回は、9月末か10月早々に開催させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

議 長 全体を通じて、本日の議題以外でも結構ですので、御意見などあれば挙手の上、よろしくお願いたします。

中 森 委 員 ポルタの駐車場が値上げすると聞いています。今までは、1時間無料でした

が、30分になると言っています。どうしてそういうようになったのでしょうか。

総合支所長 迷惑をおかけして申しわけありません。
企業会計に移行しまして、アストとかフェニックスの市営駐車場に合わせるということで、1時間無料が30分無料になります。
ただ、役所に御用に見える方が、30分を超えて100円いるときは、駐車券100円を津市が窓口でお渡しさせていただきますので、役所へ用事のある方が駐車料金を自己負担していただくことはありません。

中森委員 広報にそのようなことは書いてなかったと思います。

地域振興課長 広報に書かせていただいたのは、株式会社がお持ちの駐車場を市が買い取って市営駐車場に移行させていただくというお知らせだったと思います。
今説明させていただいたのは、今後、久居総合支所がポルタに移らせていただいたならば、ひとつのサービスとして無料券という形で、利用者に御負担をかけないようにするというございます。

倉田委員 今までも、最初の30分が無料で、後の30分は、テナントが負担していたと聞いています。

岡委員 そうすると、現在、アストでは回数券が出ていますが、市営駐車場はすべて共通して使えるのでしょうか。

副総合支所長 共通にするためには、機械を変えることになり、新たな投資がいりますので、その件は、検討材料ということにさせていただきます。

井面委員 駅東の駐車場は、1日600円ですが、ポルタの駐車場も市になったので、600円にはならないのですか。

総合支所長 なりません。

中森委員 役所に用事のある時は、無料になるということをきちっと広報に載せて、住民に分かるようにしてください。

総合支所長 最短で、1年半後、今の予定では、平成27年1月4日にポルタにて市役所がスタートします。工事次第では変わるかもしれませんが。
それまでには、きちっと広報にて周知します。

中森委員 駐車場は、今年の9月から変わるということですね。

総合支所長 そういうことです。

佐藤委員 30分以上かかる用事はないと思いますが、今でも、住民サービス機能が3階にあるのですから、広報していただいたらありがたいと思います。

総合支所長 7月に津市が駐車場を取得させていただき、7月、8月と約1ヶ月半周知しておりますので、おおよそ利用していただいている人には周知できてきたと思っています。もっと周知していきたいと思います。

川原田委員 ポルタの問題について、近々、管理組合の総会があるのですが、その中でこの問題も議論されると思います。

今は、9月1日から市の管理になると言っていますが、細かい状況については、まだ何も説明を受けていません。例えば、テナントによっては、これまで会社が運営する駐車場を1か月5,000円で借りておりましたが、その件について何も議論されていません。たくさん問題があります。

森下委員 サマーフェスティンひさい事業のペーパーの中で、「自衛隊4F屋上で大鷹会主催で150人～200人位の人が観覧しています。」とありますが、大鷹会というのはどういう組織ですか。

井面委員 私が書かせていただきました意見ですが、大鷹会というのは、事業所と自衛隊との会です。会員の者は、今年から会費3,000円ですが、自衛隊4F屋上にて花火を観覧したり、飲み物を飲んだりできます。

そこで義捐金を募ったらどうかと思って、意見を書きました。

大井委員 サマーフェスティンひさいで、ハチ公音頭を流していましたが、CDかテープはあるのでしょうか。民謡保存会でも急に踊るようになりましたが、今後、練習するのにCDがほしいのですが。

中森委員 CDはありますが、まだ買えるようにはなっていません。御希望であれば、用意いたします。

川原田委員 ハチ公の歌はいくつかあると聞いておりますが、これがハチ公の歌、これがハチ公音頭というように決めていただきたいと思います。

中森委員 来年の花火までには、文化協会ですべてさせていただきます。

議長 本日の事項はすべて終了しました。

以上をもちまして第2回久居地区地域審議会を閉会いたします。

本日は長時間にわたりまして、ありがとうございました。

午後 3時 37分 閉会